

授業科目名	専門演習 ・ a			科目コード	G5603P02
英文名	Major Seminar I a				
科目区分	英語国際キャリア専攻科目 - 総合				
職名	教授	担当教員名	堀川 真理子		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	火曜日	時限	3限目		
開講時期	3年前期	授業の方法	演習		
必修・選択	専攻必修	単位数	2単位		
授業の概要	注目する課題を、複数の角度からとらえ、その内容を文章にまとめる作業を繰り返す。（企業での実績あり）				
キーワード	テーマ選定	先行研究	フィールドワーク		
到達目標	想定テーマを、「よい社会を考える」視点でとらえられる。（40％）				
	情報収集の手段としてのニュース媒体、データベースの利用法を習得する。（20％）				
	テーマを切り口ごとに文書にまとめ、発表できる。（40％）				
ディプロマポリシー	4.社会人としての能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	現代社会に必要な基礎知識の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○					
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
			○		

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	コースの流れを説明。チームメンバーの想定テーマを互いに聞く。		
	【予習】	現時点で考えているテーマをまとめる。	
	【復習】		
第2回	各人が課題発表。テキストを読み、具体的事例を討議する。		
	【予習】	課題を調査し、発表の準備をする。	
	【復習】		
第3回	各人が課題発表。テキストを読み、具体的事例を討議する。データベースの使い方を学ぶ。		
	【予習】	課題を調査し、発表の準備をする。	
	【復習】		
第4回	各人が課題発表。テキストを読み、具体的事例を討議する。		
	【予習】	課題を調査し、発表の準備をする。	
	【復習】		
第5回	各人が課題発表。テキストを読み、具体的事例を討議する。		
	【予習】	課題を調査し、発表の準備をする。	
	【復習】		
第6回	中間報告会。各人がこの時点でのテーマを発表。		
	【予習】	想定テーマを再検討し、必要があれば、方向を修正する。現時点でのテーマの研究内容をまとめ、発表の準備をする。	
	【復習】		
第7回	各人が課題発表。テキストを読み、具体的事例を討議する。		
	【予習】	課題を調査し、発表の準備をする。	
	【復習】		
第8回	各人が課題発表。テキストを読み、具体的事例を討議する。		
	【予習】	課題を調査し、発表の準備をする。	
	【復習】		
第9回	テキストを読み、具体的事例を討議する。		
	【予習】	課題を調査し、発表の準備をする。	
	【復習】		

第10回	各人が課題発表。テキストを読み、具体的事例を討議する。	
	【予習】課題を調査し、発表の準備をする。	
	【復習】	
第11回	各人が課題発表。テキストを読み、具体的事例を討議する。	
	【予習】課題を調査し、発表の準備をする。	
	【復習】	
第12回	テキストを読み、具体的事例を討議する。	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	各人が課題発表。テキストを読み、具体的事例を討議する。	
	【予習】課題を調査し、発表の準備をする。	
	【復習】	
第14回	各人が課題発表。テキストを読み、具体的事例を探す。	
	【予習】課題を調査し、発表の準備をする。	
	【復習】	
第15回	最終レポートの発表。前期のまとめ	
	【予習】レポートの作成と発表準備。後期のフィールドワークの検討を含める。	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	授業内課題・提出物(50%) 授業内活動(20%) 期末レポート(30%)により評価する。 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	「良き社会のための経済学」(ジャン・ティロール、日本経済新聞出版)、「ハーバ	使用資料 <参考図書>	「異文化理解力」(エリン・メイヤー、英治出版)
授業外学修等	各人は、毎週、自分の想定テーマに関連したニュースを要約して発表する。インターネットやネットやテレビなどで初報を得た場合も、必ず新聞やデータベースで記事を探し出し、提示すること。課題は必ず文書にまとめ、クラス終了時に提出する。		
授業外質問方法	基本的に授業終了後の時間枠に対面で受ける。		
オフィス・アワー	木曜日2限、422研究室。		